

行政改革に関する市民説明会 質疑応答（令和8年5月16日、17日、23日、24日、31日 開催）

No.	会 場	ご意見等	回 答（会場での回答と後日回答含む）
※支所廃止について			
1	赤岡町 夜須町 香我美町	・窓口サービスセンターの業務内容、設置場所について知りたい。説明会もしてもらいたい。	・支所が中心となった支所部会で、担当課と業務内容について調整をしている。ただ、職員の配置人数は減るため、今と同じ業務はできないと考えている。推進委員さんにも意見をいただいた上で、時期としては7月に予定している香南トークで、分かりやすく資料にして、皆様にお示しできるよう考えている。また、市広報誌への掲載も考えていきたい。 ・税の申告については、各窓口センターに税務課の職員が出向いて行うことを考えている。 ・香我美町は香我美市民館と示してはいるが、まだ期間もありこれから意見を出してもらいその中で決めていきたい。
2	香我美町	・本庁職員の仕事の仕方をIT化やAI化を進め業務改善を行い、支所の職員はそのままの人数を置いてもらいたい。市の職員が本庁に固まって、他の地域が見えない。市の見守りや、市民の意見を聞く場とか、市の現状を知るという意味では、市の職員が本庁に固まってしまうことがどうなのか。	・支所の業務についてここ複数年、市民の皆様が利用されている業務の調査を行った結果、運営として管理職が判断をしなければならない業務よりも、住民票や税金のことなど窓口サービスの機能がほとんどであると出ている。地域とのコミュニケーションについては、窓口センターにおいてしっかりと引継ぎ、地域支援課とも協力し、地域とのコミュニケーションを取りながら行政運営を行っていきたい。
3	野市町 夜須町	・町内会、協議会の業務がスムーズにできるのか。また、人的補助を受けているチューリップ祭りなど、支所がなくなると人的補助をしにくくなるのではないかと危惧している。	・まちづくりに関する補助金などの手続きは、できるだけ地域の方に迷惑が掛からないような体制がとれるよう考えている。支所の人材を本庁に戻して、全体としての支援を考えていきたい。当然、チューリップ祭りなどもしっかりとサポートしていきたいと思う。しかし、市が事務局として職員が関わって運営していくというお祭りなどお金の面だけではなく、職員の働き方など様々なことを考えた上で、どのように整理をし、進めていくのか考えているところ。

No.	会 場	ご意見等	回 答
4	野市町	・ 20 年前、対等合併で約束事が交わされたと思うが、支所についてはどうなのか	・ 野市町を除く 4 つの町村において、合併協定の中で支所を置くということは記されている。合併当時の課題解決を図り、行政運営を進めていく中で支所とされていた。今回、そういった部分においては、調整ができてきており、現状では支所の業務としては証明書の発行や税金の納付など、支所長がいて管理監督責任を持って色々と調整する業務はほとんどなくなってきているのではないかと。その中で、窓口センターという形で職員を配置し、地域の皆さんとの関わりも十分に引き継ぎながら行政運営をしていきたい。
5	赤岡町 香我美町	・ 市民の現状と合うように市民の声を聴いてもらいたい。 ・ しっかりと市民ともコミュニケーションをとって進めてもらいたい。	・ ご意見いただきありがとうございます。丁寧な説明に努めます。
※財政について			
1	赤岡町	・ ふるさと応援寄付金事業に注力してもらいたい。返礼品が増えることによって産業などの収入にもつながっていくと思う。 ・ 委託している自治体もあると聞いたが、色々なノウハウを学んだらどうか。	・ ふるさと納税は歳入確保に非常に有効であり、総務課から商工観光課に担当課を変えて、産業を育成することが返礼品につながり、それがまたふるさと納税につながるという考えで進めている。令和 7 年度では約 6 億円、3 ～ 4 年かけて 10 億円以上にしたいと考えている。産業の振興による返礼品の拡充、インターネットを使用したイメージ戦略を進めたい。 ・ 本市も、委託をして助言をもらいながら進めている。自治体によっては技術的にも攻めて、職員数も多く配置しているところもある。そこに追いつきたいところではあるが、定員管理や事業の見直しなど整理をしている中で、今すぐそちらへの人員配置はなかなかできていない。国の制度が変わってきており、指定を取り消された自治体や、すれすれのところでやっている自治体もある。本市はそういう意味においては非常に安全安定で進めている。もう少し攻めるための土台作りを来年度以降になるが体制を検討している。ご指摘を踏まえて、しっかり取り組んでいきたい。

No.	会 場	ご意見等	回 答
2	赤岡町 香我美町	・ 24.8 億円削減はかなり厳しい。予算編成の際に 5 % のシーリングとか厳しくしないと無理ではないか。令和 13 年から黒字と書いているが、希望的観測と感じた。	・ 建設事業については、優先順位をつけて行い、事務の効率化などを踏まえて各課担当者に最小限の経費で最大限の効果を上げるような取り組みとして、事前に削減を依頼する。実際必要なものについては、現場の判断となるが財政査定も行っていく。削減額は目標であり、本当に実現できるかの根拠はないため、全力で取り組んでいく。令和 8 年度当初予算では、各課に対して現在の厳しい現状を説明会でも伝えており、予算編成も厳しく 5 % や 10 % など確実に削減してもらうことになりかねないことも含めて話をしている。来年度に向けては検討をしていきたい。
3	香我美町 野市町 吉川町	・ 人件費、職員数について、人数は減らせないので、人件費（給与、賞与、手当）をカットしなければいけないのではないかな。	・ 公務員は労働基本権が制約され、給料を上げる交渉やストライキなどの制限がある。その代償措置として人事院勧告制度があり、その中で給与月額、期末勤勉手当の支給率も人事院勧告に沿って国準拠として運用している状況。給与、賞与に関して今のところ、減額は考えていない。手当についても、国準拠として人事院勧告で決められたルールの中かで支給している。その手当を一律に削減することはできない。生活給であるため、人件費カットとならないよう、今後の集中改革プランの取組をしっかりと進めていきたい。
4	夜須町	・ 人件費は歳出全体の何%なのか。	・ 令和 8 年度当初予算では、歳出全体の 25 % となっている。
5	野市町	・ 義務的経費の増加で、扶助費はどのくらい増加しているのか。国保の医療費増加はないのか。	・ 扶助費は横ばいとなっており、国保の医療費も特には増えていない。医療費控除の上限の年齢を 15 歳から 18 歳までに引き上げた部分は増となっている。
6	野市町	・ 森林環境税があると思うが、使い道の条件があるかもしれないが、それは使えないのか	・ 森林環境譲与税は基本的に森林整備や普及啓発にしか使えない。香南市は子どもの木育事業に使っている。子どもたちにとっては我々以上に勉強する機会を得て、環境を大切にする意識が高いので、森林環境税を使った事業ができないかというのはあるが、今回の行政改革とは別となり、有効な事業として考えている。

No.	会 場	ご意見等	回 答
7	吉川町	・職員の残業が多いのではないかと。分散した出勤や、残業しない日を設けてはどうか。	・職員の勤務条件としてフレックスのように、できるだけ時間外勤務手当の削減につながる取り組みも行っている。
8	夜須町 吉川町	・人件費が予算全体の 24%とウエイトが高い。 ・人権費は予算全体の 15%未満が正しい経営。それで 10 億くらいの削減になる。基礎の数値をはじいて運営してもらいたい。 ・予算は税金で他に収入がないので全体の経費を徹底的に見直してほしい	・ご意見いただきありがとうございます。ご意見を参考に具体的な目標値をもって取組をすすめます。
※職員数について			
1	吉川町 夜須町	・人口割合からみても職員数が多いのではないかと ・会計年度任用職員数が多い。これだけの人数がいないと市政が回らないのか。	・同じような団体と比較し、しっかりと見極めながら適正化に取り組んでいく。 ・会計年度任用職員で一番多いのはやはり民生部分の、保育所、児童クラブなどを運営するための職員となっている。サービスを提供するために雇用してきた結果が今の人数になっている。民間移管、民間委託という形で、直営ではなく、民間の方でもできるサービスは民間を活用してできないかということで提案をし、人件費削減に努めていくこととしている。
2	吉川町	・正職員のやりがいや、公務員としての自覚、資質の向上を行えば、会計年度任用職員は半分にできるのではないかと。	・正職員の能力を向上させるということをご指摘のとおりだと思う。正職員が市民の皆様と向き合う時間が薄まっているのか、質の向上、公務員としてやり遂げなければならないという思いが、やや離れていると市民の皆様がそう思われているということはこの会を通じて感じている。これから会計年度任用職員を物理的に、予算的に減らしくことは命題。これまで以上に正職員がしっかりと、それぞれの仕事に向き合っていくことだと思っている。ご指摘を受けて前向きに取り組みたいと思っている。

No.	会 場	ご意見等	回 答
※民間活力の導入について			
1	赤岡町	・ 民間に委託をする場合は偽装請負などにならないように、きちんとチェック機能を果たしてもらいたい。民間委託を進めるに当たっては職員を交えての話し合いをしてもらいたい。	・ 民間委託後も適正な運営を行うよう確認をしていく。 ・ 関係課を中心とした専門部会で具体的に進めていくことになっており、現場の声を取り入れながら協議を行っていきたい。
2	香我美	・ 子どもに関することを民間委託するということで、給食センターの食材は市が管理する、調理部門だけの委託ということで間違いないか。	・ 給食の献立は県が雇用した栄養教諭が作成し、それに合わせ食材を購入している。それを調理する人だけを委託する。財政的に削減されることはあっても、栄養面は栄養教諭が配置され、譲れない部分であり変更はない。
3	香我美	・ 民間移管した場合に保育料は上がるのか。	・ 保育料に変更はないが、給食費が市の補助額を上回った場合は、差額は保護者負担となる。また、民間になると様々なサービスが提供されるようになると思うので、その部分は利用を希望する場合は保護者負担が生じることになる。
4	夜須町	・ よく民間活力が出てくるが、世界的にも失敗して公営に戻すという話も聞くので、どのくらい効果があるのか分からない。	・ 民間に委託するリスクが当然大きいものであることは理解している。そこは注意深く、委託する際には仕様書をしっかりと出して、判断をしていきたい。
5	野市町	・ 民間活力に関して、子ども達に関わる部分が多いが、保護者の方にはどの程度説明をしているのか。していなければ細かくしてもらいたい。	・ 現在、「野市保育所民間移管、野市幼稚園認定こども園化」、「児童クラブの民間委託」、「給食調理の民間委託」それぞれの取り組みについて、教育委員会で方針を作成中。その方針ができれば、保護者の方、職員へもしっかり説明をしていきたいと考えている。
6	赤岡町	・ 行政機能も民間委託してもいいのではないか。	・ 行政改革の取り組みとしては、まず第1弾の民間活力として今日ご説明した3つの業務を示している。様々な事務事業についても、民間委託が可能であれば検討をしていく。行政改革には終わりが無いと考えており、その都度必要なことをしっかりと取り組んでいく。

No.	会 場	ご意見等	回 答
7	野市町	・香南市は教育ランクが高いと思っている。民営化して香南市全体としてはどのように考えているのか。	・公設公営の割合が高いので、どうしても人件費がかかってしまう現状、香美市、南国市や全国的にも民営化に取り組んでいる。民間の様々なサービスも拡充されており、保護者負担はあるが、サッカーや塾のようなメニューもある。公立保育所、幼稚園、認定こども園プラスαのサービスができてくるという考えである。市としては公設公営で運営する割合を下げ、人件費を抑える必要があると考えて取り組みを進めていきたい。
8	吉川町	・民間活力の導入は、100%のうち今のくらい割合として進んでいるのか。	・民間移管、民間委託に関しては、それぞれの方針を作成している段階。方針ができてから、保護者、職員に対して説明を始めていくように進めている。野市保育所の民間移管、野市幼稚園の認定こども園化は令和11年度に、給食センターの調理業務の民間委託、児童クラブの民間委託は令和10年度からと一定のゴールを決めて進めている状況。
9	野市町 夜須町	・保育所の運営は今まで公営で守られていたものがあると思う、サービス低下するのではないか。 ・民間委託は受けてくれるところがあるのか。	・ご意見いただきありがとうございます。サービスの低下とならないよう、事業者と連携をとるよう取り組んでいく。
※補助金・施設使用料について			
1	香我美	・補助金と、施設使用料の見直しを行うことについて、公民館を利用しているサークルなどに説明を行う必要もあり、最終的にいつ頃決まるのか知りたい。また、補助金の減額について、まちづくり協議会の補助金が減額になるのか知りたい。	・使用料については、定期的な見直しができおらず、現在方針を策定し、検討しているところ。10月末までの作業期間としている。担当課から団体の方への説明を順次行っていくが、施設数をたくさんもっている課は少し遅くなるかもしれないとは考えている。補助率も合併以降見直しできていなかったため、現在方針を策定し取組を進めている。まちづくり協議会の補助金については、基本的に継続していくと考えているが、補助内容（率や金額）は見直しがあるかもしれない。変更点を含め、説明をさせていただきたいと考えている。

No.	会 場	ご意見等	回 答
2	夜須町	・ 公共施設は香南市以外の方は使用できないのか、稼働率が低いと思う。有効活用ができるように、収入が増えるように取り組むべき。今までも赤字が出ていた施設とかあると思うが、対策はしていなかったのか。	・ 学校施設など制限がある施設以外は香南市以外の方にも貸出可能。広くは募集していない。 ・ 赤字の施設の対策はできていなかった。合併した段階で、全般的に事業の見直しをして進むべきところ取組ができていなかった。
3	野市町	・ 物件費、補助費について知りたい。	・ 物件費は、消耗品や委託業務など事務的経費となる。補助費は企業会計への補助や市が単独で実施している団体の運営補助や、防災対策課が行っているヘルメット購入補助金などがある。補助金については補助率や補助額が適正に交付されているのか、住民ニーズにあっているかも検証しながら見直しを行う。物件費については、事務の効率化、予算の査定で削減を行っていく。
4	吉川町	・ 自治会組織も高齢化しており、町内会への支援を絶たれるとさびれてしまう。自治会への補助金、人員の支援は継続してほしい。	・ 支所を廃止して窓口センターになっても、自治会や協議会の運営支援はしっかりと行っていく。現在は集落支援員が常駐しているが、窓口センターに変わった場合は、まちづくり担当課、地域支援課から職員を派遣し、支援を行っていくと考えている。補助金については、一律に何割カットではなく、補助金の公平性、透明性などルールをきちんと持ってやるということ。また説明をさせていただきたいと考えている。
5	夜須町	・ 補助金については住民生活に直結しているものなので慎重に検討してもらいたい。	・ ご意見いただきありがとうございます。
※その他について			
1	赤岡町	・ お祭りやイベントの周知、説明会など YouTube を積極的に利用してもらえないか（広告収入もある）	・ YouTube は非常に大事なことだと思っている。説明会などもいきなり聞いてもピンとこないこともあると思う。広報の強化という意味で、議会に関しても、我々ができる限り取り入れられるよう話を進めていきたい。

No.	会 場	ご意見等	回 答
2	赤岡町 夜須町 野市町	・市職員の住民対応が悪い。 ・職員はもっと前向きな方向で動いてほしいと思う。 ・窓口で職員がこちらを向くことが少なくなった。	・職員の接遇に関しては、昨年度接遇マニュアルを作成し、それに基づいて今年度、接遇研修を行う予定である。マニュアルには電話対応も含めて細かい接遇についても対応を記載している。接遇マナーが職員に身につくように取り組んで行きたい。
3	赤岡町	・職員の定年退職はいつか（再任用など 定員の削減につながる）	・65歳退職に向けて2年で1歳ずつ段階的に引き上がっている、現在は62歳。65歳で完成すれば、60歳を迎えて、短時間を希望する職員は再任用、フルタイムは定年延長となる。定員管理にも載せているが採用人数の削減については、推進委員会で、ある程度の採用をしないと組織として活性化しないのではないかと指摘を踏まえたものとした。 ・人件費が全体的に多い状況の中、毎年、所属長、副市長、教育長でのヒアリングを行い事務事業で必要な職員数をしっかりと把握して、採用計画を立てていきたい。
4	香我美町	・集中改革プランの進め方として、PDCAのやり方でいいのか。これで間に合うのか心配になった。	・行政改革大綱、集中改革プランの取り組みは、推進委員会で様々なご意見をいただいて策定をしている。取組の内容についても、このように取組効果が出たとの報告をしてご意見をいただきながら繰り返し進めていくことを考えている。ご意見も含めて検討をしたいと考えている。PDCAは30年かなり以前から使われてきた手法であるが、現状としてこれに沿って実行し、これが現在も続いている。現在の危機的な状況とPDCAの時間的な差があるのかもしれないが、途中で形を変えることはできないかもしれない。今一番スピード感を持って対応できるのが、PDCAサイクルだと考えている。行政改革には終わりがないため、新しい課題が出たらさらに改革を、即応して変えていかなければならない、その過程でPDCAが変わっていくかもしれない。スピード感と即応性に対したやり方を見つけていく必要があることは理解している。

No.	会 場	ご意見等	回 答
5	香我美町	・図書館や市民館も統廃合を考えているようだが、一カ所にサービスを集中せず、他の地域にもある程度分散させることはできないか。	・現状は認識をしている。人口減少などもあり、いかにバランスを取っていくのかを考えている。地域をどのように支えていくのか対応できることはないかを引き続き考えていく。
6	香我美町	・香南市はこうやっていくというイメージを持って、未来の子どもたちが悲しまないようにしっかりと考えてもらいたい。	・どのように進めていくのか難しいところ。保幼小中連携のシステムが構築されているのは珍しく、全国から議員さんも視察にくる。保育所幼稚園間で職員の異動があることも大きな特徴。民間も理想的な教育の考え方は持っていると思うが、市がすすめる保幼小中連携の取組に協力していただけるよう、業者選定の際には留意して取り組んでいく。
7	香我美町	・職員の給料カットなどしないのであれば、それなりの仕事をしていただきたいと思う。	・市民の皆様に変な状況をお願いしなければならない中において、行政改革の状況というものを説明しながら、ご納得はいただかなくても、ご理解をしていただけるような、そしてまた、態度行動というものを示せるように、取り組んでいきたい。
8	夜須町	・広報にもいい未来にするためとあったが、支所廃止や、公的な施設がなくなって、高齢者にとっていい未来が描けるのか、と思った。	・今まである一定職員を置いて、地域と一緒にコミュニケーションを図ってきた。そういった部分も最大限考慮して、窓口センターにおいてもきちんと地域とコミュニケーションが図れる運営にしたいと考えている。本当の意味でのまちづくりを考えていきたい。
9	夜須町	・同じ事業をしても民間では利益が上がるのに、公営ではなぜ利益がでないのか。	・市役所は儲けることを前提としてではなく、民間ができないことをやっているところが大きい。今回の民間活力導入については、民間企業の方が特色を出してできることもある、ということでこの今日ご説明した3つが上がってきていると考えている。
10	夜須町	・夜須コミュニティセンターができれば夜須公民館はどうなるのか。解体費用は歳出見込に入っているのか。解体費用の積立はしていなかったのか。	・PCB など色々な関係で、使い続けるには課題があると聞いている。解体費用は歳出見込に入っていない。積立はできていない。

No.	会 場	ご意見等	回 答
11	夜須町	・香南市は地区担当職員となっているが、防災担当職員として地域に入っている市町村もあるので、お金はなくても人の支援も考えてもらいたい。	・地区担当者が地域のお手伝いをするということで取り組んでいる。そこは変更する考えは持っていない。
12	夜須町	・農業、漁業など地場産業が衰退しているがどう考えているのか。	・漁業は、どろめは3月から漁獲できていない、また取れるか分からない状況で漁に出ることができない。県、国が大きく動いてもらわないとできない状況。応援はさせていただいている。微々たることかもしれないが、できることはやっていきたい。今後の漁業に関しては非常に厳しい状況にあるのかもしれないので、県、国としっかりと取り組んでいかなければならないと考えている。 ・農業については、資材、燃料費の高騰、そして天候も40度という夏場の状況でどのように進めていくのかも大切。県として国が示している方針として大規模化や企業参入が本当にできるのか厳しい状況だと考えている。香南市で作る作物の付加価値を高めていくことが大切。香南市独自の支援策を考えることはできないか、今、具体的にお示しすることはできないが、これからも全力で取り組んでいきたいと考えている。
13	夜須町	・ボーナスの査定について評価はしているのか。	・ボーナスは人事評価において評価を行っている。
14	野市町	・財政難は香南市だけではないと思うが、県や国には困っていることを訴えてもらいたい。子ども達にはいいものを食べさせてあげたい。	・県知事、県議会、国会議員、財務省、総務省、国土交通省に日頃から足りないものについて、予算措置などをお願いするよう努めているが、これからさらに、もっと熱心に現状を力強く切実に訴えていくようにする。
15	野市町	・行政改革だからというわけではなく、事業、仕事の内容検討は思った時からやらなければいけないと思う。	・全ての事務、事業についてヒアリングシートを作成し、仕事の取り組み方事務のやり方などを評価し、継続、やり方を変えて継続、中止や廃止する事業など、取り組みを進めているところである。

No.	会 場	ご意見等	回 答
16	野市町	・行政改革の取組が市民に広がってくると、職員への目も厳しくなるのではないかと。職員の評価基準を教えてください。	・人事評価というかたちで、職員の評価を行っている。大きな項目として業績評価、能力評価があり、業績評価については、現状が 100 で努力をして 120 にするという目標設定を行い、その評価は半期ごとに年 2 回で、評価基準としては、現状 100 が 120 までいけば優秀だというような形で評価するようにしている。能力評価については、仕事への取組み姿勢や、お客様意識などそのような態度評価について項目が分かれている。役職によって業績評価、能力評価の割合が変わっている。期首面談、必要であれば中間面談、最後に期末面談を行って、所属長が人事評価を行い、職員に返している。このような形で取り組んでいる。
17	野市町	・行政改革の取組を一般の事務職員に対して徹底してできるのか、具体的にどういうふうにしてもらいたいか懇切丁寧に細かい説明は実施されているのか。職員全員が市全体の目標に対して、努力して目標に近づけていくという意識をもっていかないといけない。	・職員一丸となって取り組むよう、職員に対して説明会を開催している。職員を 1 人も取り残さないように、しっかりと行政改革の取り組みについて共有をするようにしている。職員には、日頃からどのように見られているのか、その上でどう応えていくのかを考えるようにと伝えている。また、行えなくなるサービスがあれば、市民の皆様の目は当然これまでとは違う形で、厳しく査定をされていく状況であるということも常々言っている。歳入の確保についてふるさと納税を 10 億まで上げようと目標を持って、新しいことにチャレンジしようと考えている。
18	香我美町	・行政改革はやる気でやらないといけない。まずは職員にきちんと取組が伝わってから市民に伝わると思う。それがきちんと回れば組織も変わってくると思う。	・ご意見いただきありがとうございます。職員説明会の開催など、情報共有しながら、全職員で取り組んでいく。
19	野市町	・歳出について、賞与は減額しなくてもいいので職員が今の 2 ～ 3 割頑張ってもらえたらいい。パソコンに向かって仕事をしているのかどうかわからない人もいる。	・ご意見いただきありがとうございます。職員の接遇の向上、人材育成による資質向上に努めていきます。

No.	会 場	ご意見等	回 答
20	野市町	・魅力あるまちづくりをめざして、将来的なこれからの子ども施策をどのように考えているのか。	・現在も様々な取組を行っており、母子手帳を発行した段階から保健師がしっかりと対応している。昨年には民間の助産院も開設されている。出産されてからは、企業と協力をして子供用の様々なグッズを送る取り組みもしており、保幼認定こども園小中の連携に関しても行っている。ただ、現状として転入した若いご夫婦の0歳児の預かり施設が野市地区にはなく、ニーズも高い。そういったことに対し、今回の保育所の民間移管により、野市幼稚園を認定こども園化して0、1、2歳児を預かれるということになる。保育所民間移管をし、新しいメニューのある保育所が来てくれたらそこが魅力につながるのではないかと。子育てしやすい、また預けやすいことが就学前に取り組んでいきたいこと。そして、小学校からは教育、学習をしっかりとしてもらう。奨学金支援制度も拡充を行っている。産まれる前から産まれて、育てそしてさらに帰ってきたい町を作るために、香南市未来戦略として民間の方などを集めて意見をもらい具現化するよう取組を行っている。
21	吉川町	・子どもは無力であり、専門的な目線が必要となってくる。保育士が輝ける研修を行ってほしい。	・ご意見いただきありがとうございます。今後の取組の参考にいたします。
22	吉川町	・期日前投票の人数や時間も調べて、投票所の縮小に関しても検討に入れてもらいたい。	・ご意見いただきありがとうございます。今後の検討といたします。

※内容は要約し、同様のご意見等はまとめて掲載しています。

行政改革以外のご意見につきましては省略しています。(関係課には情報共有しています。)